

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす



2017-2018年度 RI会長 イアン H. S. ライズリー氏

例会予定 11月15日 外部卓話 常陽産業研究所 チーフエコノミスト 尾家啓之様
11月22日 第1回IM準備例会・クラブ協議会 / 51代会長卓話 熊谷 昇会員

VOL. 55 No. 17(通算No. 2536)

2017年11月 8日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング・四つのテスト
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
会員卓話 大澤 清会員 他 筑波大学生



2017-2018年度 会 長 石 塚 克 己 幹 事 倉 持 功 典

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F
毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F
Tel.0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



11月はロータリー財団月間

例会報告 VOL. 55 No. 16 (No. 2535) 11月 1日(水)晴れ (司会 瀬戸隆海会員)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 常総NPOセンター・コムズ
代表理事 横田能洋様

ビ ジ タ ー

常総NPOセンター・コムズ 代表理事 横田能洋様

誕 生 祝



《会 員》石井康弘会員 北村英明会員 松村仁寿会員 長塚 暁会員 草間春正会員
軽部良一会員

《ご夫人》倉持会員 瀬戸会員

諸 報 告

雑誌委員会 鈴木茂徳委員長

11月号のロータリーの友のご案内です。今月号は特集が3つ組まれています。

まず一つ目は、11月5日からの世界インターアクト週間に因み「インターアクターと連携する」と題して各地のインターアクトクラブの活動と、ロータリークラブがインターアクトといかに連携していくか、また、顧問の先生はどのような思いで生徒を指導しているのかを取り上げています。

二つ目は「私たちの目標・ポリオのない世界」です。日本では、ポリオワクチンの導入により1980(昭和55)年の1例を最後に、現在まで野生の(ワクチンによらない)ポリオウイルスによる新たな患者は出ていません。しかしながら、海外では依然としてポリオが流行している地域があります。パキスタンやアフガニスタンなどの南西アジアやナイジェリアなどのアフリカ諸国です。ロータリーは1970年代からポリオ撲滅のために寄付活動を行ってきました。その活動に対してマイクロソフト会長のビル・ゲイツとその妻メリンダが創設したビル&メリンダ・ゲイツ財団が資金支援の延長を発表し、ポリオ撲滅活動のために最高4億5000万ドルが提供されることになったそうです。記事では、ゲイツ財団のポリオ撲滅プログラムの責任者であるジェイ・ウェンガー氏が、伝染病の研究者としてポリオを永久に撲滅することがなぜそれほど重要なのかを語っています。

三つ目は、「ロータリー財団奨学生、その後」です。当時日本では遅れた分野だった周産期医療を学ぶために南カリフォルニア大学に留学し、帰国後鹿児島・宮崎で周産期医療の礎を築いた、現・宮崎大学長の池ノ上 克氏を取り上げています。

このほかにも今月号も盛りだくさんのロータリーの友ですが、今月号でわたくしが最も興味深く読んだのが「シリーズ クラブを訪ねて」です。茨城県の古河東ロータリークラブが紹介されています。古河東ロータリークラブはロータリー国際大会にも毎年十数人が参加するなど、旺盛な行動力で数多くの表彰も受けている全国でも屈指のクラブで、昨年12月に衛星クラブも発足し、クラブの世代交代に関しても積極的に活動を行っているようですが、その原動力の源が61名の会員のうち21人を占める女性会員だそうです。女性が先頭に立って活動すると男性会員も一生懸命に頑張る、クラブの雰囲気も和やかになる、など女性会員の影響力は計

11月はロータリー財団月間

り知れないということです。

本クラブでも前回のガバナー公式訪問の際に女性会員の増強を、というお話があったばかりですが、この記事を読みその重要性を改めて感じたところでございます。是非お読み頂きたいと思えます。

以上で11月号のロータリーの友の紹介を終わります。

ロータリー財団 二本松恭行委員長

11月は、財団月間です。寄付の御協力、宜しくお願い申し上げます。

幹事報告 倉持功典幹事

週報受理クラブ 水戸RC、水戸南RC

例会変更通知 牛久RC 11月13日(月) 19時より 金太郎鮎

会長挨拶 石塚克己会長



11月第1週の挨拶を申し上げます。

茨城 NPO センター・ commonsの横田さん、ようこそお出でくださいました。お聞きするところ、本日の卓話は私の職業と通じる部分があるようですので楽しみにしています。何れ当クラブへのご入会を期待しています。今回、卓話の機会を設けていただきました大澤さん、どうぞ背中をプッシュしてください。

先週の27日(金)、2度延期の谷和原グラウンド・ゴルフ大会が開催され、当クラブから倉持幹事、染谷正美社会奉仕委員長、秋田会員、大澤会員が出席されました。始球式で何と OB でした。また当日、青木清人ガバナー補佐と石井康弘セクレタリーが龍ヶ崎中央ロータリークラブ公式訪問に出席されました。お疲れさまです。

30日(月)には第1回 IM 実行委員会議を委員長・副委員長出席のもと、行いました。今月第4週例会にて熊谷実行委員長より報告されます。

11月はロータリー財団月間です。どうぞ財団へのご寄付をよろしく願いいたします。世の中やロータリーにも知らないことが多々あるものです。ロータリー財団とはどのような存在か、寄付がいかなるところに生かされているのか、恥ずかしながら、理解したのがここ最近のような気がします。

いわゆる財務省的な役割を担い、私たちロータリアン一人ひとりの寄付が RI 及び2820地区をとおして地域社会や国内はもちろん、全世界に活用されているということです。今回は会長として1000ドル(11万4000円)を寄付しなければならぬようで、財布がピンチですが、その活用性、有効性をしかと見届けたいと思えます。(笑)

財団月間卓話では北村仁さんが数回、お話しされております。水海道 RC ホームページ「会員卓話コーナー」にて掲載していますので、どうぞご覧になってください。

職業上の話しをひとつ。昨日、年長児と筑波山に登ってきました。足腰悲鳴、息絶え絶えでしたが今朝は園児、引率職員ともに元気で登園、出勤しました。私の場合、筋肉痛はあす以降に出てくるでしょう。

よく「子どもは風の子」と言い伝えられますが、これまでの職業生活の中で一度も聞いたことがない子ども(幼児)の言葉があります。皆さん、どんな言葉だと思いますか。

答えは「先生、暑いよ」「先生、寒いよ」です。これは発達段階での感情表現が備わっていないためです。

大人ならば寒さの対岸にあるのが「暖かいほうが良い」、暑さの対岸が「涼しいほうが良い」。しかるに「暑くて、寒くてやっていられないよ」と感情表現ができるのです。子どもはそんな比較の表現が頭になく、暑いときも、寒いときも戸外で何時間だって遊んでいられるわけです。遊び疲れて体調が悪くなると、自分から申し出ることがなく、黙ってうずくまります。保育教諭はその体調の変化を見抜くプロでもあります。

さて本日の卓話は「常総育ちの外国人の子どもを地域の光に」です。外国人の子どもたちは同様に地域の宝でもあります。横田さん、どうぞよろしくお願い申し上げます、会長挨拶といたします。

11月はロータリー財団月間

外部卓話 常総NPOセンター・コムンズ 代表理事 横田能洋様



空き家を福祉長屋に変え、人を育て
被災したまちを復興させる



認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムンズ
助けあいセンター-juntos
代表 横田 能洋
www.juntos-ioso

わたしの仕事はNPO

- NPOは、社会問題解決のために社会から人とお金を集め実験するための組織（道具）
- 社会のために何かしたい人と応援したい人をつなぐためのが茨城NPOセンター・コムンズ
- 1998年11月に設立。本県の認証申請第1号（経済団体で社会貢献推進の仕事をしたのち独立）
- 以後、約20年NPOの設立運営相談に乗りながら、行政の支援が受けにくい人の支援をしてきた。

常総での活動はリーマンショックから

- 不況で日系ブラジル人が派遣切りにあい、子がブラジル学校に行けず不就業に、というケース
- 公立小中学校に日本語がわからない子が急増
- 日本の子どもと遊ばないブラジルの子ども達
- このままでいいのか、、、という疑問
- 情報弱者である聴覚障がいの人と重なるテーマ
- 何ができるか考えた2008年の暮れ
- ある集会を開いたら日本語教室を運営することに

県外国人就労就学サポートセンター
2010年から3年間就労と就学の支援
2013年からは寄付を財源に
自主事業として学習支援を継続



場所は常総市森下町

就学前のプレスクール、
夏休みのサマースクール、
放課後や土曜のアフタースクール



グループハウスの具体化への取り組み



福祉長屋のコアとなる拠点として旧ビジネスホテルを借り、修繕を行いつつ、住民向けサロンを行ったり、改修プランの作成をした。

キッチン、保育、農園、障害者や外国人の就労支援、介護など複数の事業を組み合わせて行っている農家の「いるかビレッジ」を視察

尼崎市で20年近くグループハウスを運営してきた中村施設長の講演会を2016年の6月末に常総市で開催

たすけあいセンターJUNTOSとは

- 設立経緯
2015年9月10日 水害によりコムンズ常総事務所も約1メートル浸水
9月17日 「たすけあいセンターJUNTOS」を立ち上げる
- 初期の主な活動
 - ・多言語の情報誌発行、支援物資の提供
 - ・掃除の機材・軽トラ等の貸し出し
 - ・車をくした方の移動支援
 - ・炊き出し・お茶会の開催
 - ・被災した家庭生計学習支援
 - ・空き家を活用した地域の拠点づくり
 - ・在宅避難者の調査と市への提言



地域復興のための課題

- 壊れた家や災害ゴミ、浸水の跡が見えなくなり表面的には以前の街並みに戻った。3日間泥水に浸かった家のダメージは想像以上。
- 元の生活に戻れた人と、戻れない人、帰る家がまだない人の格差、気持ちの温度差が拡大
- 転出者や空き地が増えひっそりしている
- 店や集会所施設が減り、人の交わりが減っている
- オーナーが改修も解体も出来ない家、アパートがそのままになっている。

住民交流活動と拠点の変更

旧ビジネスホテルの持ち主の都合で改修が困難となり、空き家を改修再建したJUNTOS/ハウスに拠点を移動。（2016年7月）

近隣に農園も開き、住民が農作業や食事を月1回程度開催するようになった。

福祉長屋のコアとなる空き家を探した結果、水害まで診療所だった建物と家のオーナーと接することができ、この場を地域の人が集える複合型の拠点として改修整備するための話し合いがスタートした。（2016年9月～）

空き家を再生した交流拠点



空き家を再生したjuntos/ハウス
農園での野菜作り
近所で集まって食事会

橋本町の診療所と母屋の改修



空家活用のコンセプト 共に暮らすことの7つの利点

- 庭や間取りが選べる 住む人の意向に沿って家を改修
- 家賃を抑える 空き家活用とDIYで改修費を抑える
- 一人暮らしでも安心 送迎、ゴミ出しなどの生活サポート
- 寂しくない 「えんがわハウス」を自由に使える
- 楽しみがある 趣味、畑、運動、散歩等、
- 生きがいが見つかる 子見守り、木工、畑や園芸など
- 災害への備えがある 災害時もスムーズに避難

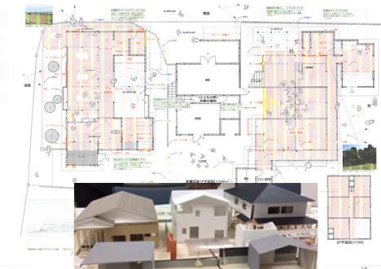
活躍する学生ボランティア



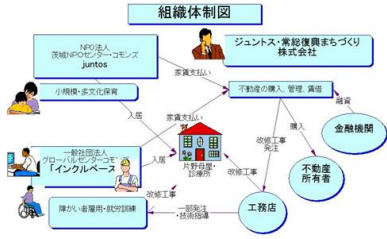
ランチは特製スリランカカレー

再びピンチに

- 診療所の土地（500坪）を全部買う話が浮上
このままでは、全部なくなってしまう。
- そこでまちづくり会社を設立し買取を決意。
そこが融資、出資、国の補助を受けて土地を取得し改修を行うべく奮闘中。
- 空き家を地域の福祉や教育の拠点として再生することで改修に掛かる費用を捻出する方式を具体化すべくチャレンジすることにした。



11月はロータリー財団月間



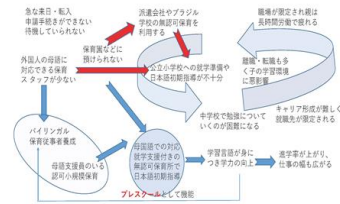
空き家リノベーションと 新たなコミュニティづくり

- ・改修費支援と入居者が見込めれば、改修できるアパートや一軒家は街中に多数存在し、置きたいオーナーもいる。
- ・改修費を「まちづくり会社」が負担し家賃で返済するモデルを作ればオーナーが直せない不動産を再生できる。
- ・リノベーションスクールを行うことで、家づくりを手伝うボランティア、自ら直して移住する人呼び込める。
- ・空き家再生で新しいアパートにはないものを付加する。(シェアハウス、飲食、交流スペース、福祉長屋のような共同生活ができる空間、見守り・仕事がある、等)
- ・課題は改修費を抑え、入居者をどう確保するか

多文化の資源を生かした地域復興

- ・人口流出と空家増大を防ぐために、市外に住民が戻ってこられるようにする。
- ・地元で育った外国籍の若者の定住支援。食品工場以外の職場でも仕事ができるようにするためのキャリア支援を進める。
- ・中学、高校、事業所、ハローワークと円卓会議とキャリアセミナーを実施中

外国籍住民の保育と就学環境を向上させ、地域で活躍できる人を育てる



バイリンガルを生かした職域の拡大

- ・サービス業（電話や車の販売、保険会社、住宅メーカー、不動産、ホテルなど）
- ・保育、医療、福祉、教育の仕事
- ・外国籍住民や外国人観光客への対応も向上し、産業発展や人口増にもつながる
- ・オリンピックまでに外国籍の若い世代がキャリア形成がしやすい状況を作れば、潜在的資源を地域復興の原動力になる

出席報告 五木田利明委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
52名	38名	14名	0名	20名	100.00%

ニコニコボックス 前島 聡副委員長

入金計 ¥62,000 累計 ¥738,000

誕生祝御礼《会員》松村・草間・北村(英)・長塚・軽部・石井 各会員

《ご夫人》瀬戸・倉持 各会員

横田様本日卓話よろしくお願ひいたします。瀬戸さん、ピンチヒッターありがとうございました。石塚(克)会員第1回IM実行委員会会議お疲れ様でした。各委員会の皆様よろしくお願ひします。倉持会員

久々にプログラム司会をさせていただきます。瀬戸会員

卓話宜しくお願ひします。名札忘れしました。斎藤会員

米山特別寄付、全会員の御協力を頂きました。ありがとうございました。島田会員

サッカー、アイディンティーみらい、県リーグ優勝しました。私は来週から休みます。鈴木(茂)会員

横田さん、卓話宜しくお願ひ致します。前島・大澤 各会員

IM準備委員会の皆様、第1回ミーティングお疲れ様でした。横田様卓話宜しくお願ひします。青木(英)会員横田様、卓話よろしくお願ひします。本日早退します。10月30日のIM準備会ご苦勞様でした。熊谷会員

早退します。申し訳ありません。内村会員

例会欠席しました。石井・鯉沼 各会員

会報委員会 福田克比古委員長 荒井孝典副委員長 内村尚史委員

11月はロータリー財団月間

2019-20 年度国際ロータリー会長にマーク・ダニエル・マローニー氏

2017年11月01日更新【国際ロータリーより】

2017-18 年度国際ロータリー (RI) 会長指名委員会は、2019-20 年度RI会長に、アメリカ・アラバマ州のジケーター・ロータリークラブ (RC) 所属のマーク・ダニエル・マローニー氏を選出。2017年10月1日までに対抗候補者が出なかったため、会長ノミネーとして宣言されました。

「クラブはロータリーの心臓部であり、ロータリーのあらゆることはクラブで起こる」とマローニー氏。弁護士であるマローニー氏は、草の根レベルでクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にする会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長のために地域別の新たなアプローチを試みたいと考えています。

「ポリオが撲滅されれば、ロータリーが大きく認知され、多くの機会が訪れるでしょう」。そう語るマローニー氏は、世界でよいことをするグローバルな組織としてロータリーが世界を先導する立場になれる可能性があると考えています。

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、アメリカ南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、アメリカ弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、アメリカ弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長、地元カトリック学校理事長、ジケーターモーガンカントリー商工会議所の会頭を務めています。

1980年にジケーターRCに入会して以来、RI理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジニアベRI会長(2003-04年度)のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。ガバナーとなる前には、研究グループ交換(GSE)のチームリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH(学校での水・衛生)委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーターRCの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

なお、RI会長指名委員会の委員として、日本からは渡辺好政氏(第2690地区 児島RC)が出ています。